

海軍公報 (部内限) 第四千五百六十八號

昭和十八年十二月十七日(金)
海軍大臣官房

○令達

官房需機密第五七四號
艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十八年十二月十六日

海軍大臣

機關長主管

艦名	類別	備品	記
戰艦、巡洋艦、航空母艦、練習艦、哨戒艇、驅逐艦、水雷艦、砲台艦、占守、國後、八丈、石垣	類別及番號	一二ノ一七	事
船數	擬固點測定器	個	

○通牒

海軍公報 (部内限) 第四千五百六十八號

昭和十八年十二月十七日

軍務一第三三九號

昭和十八年十二月十六日

海軍省軍務局長

各鎮守府

參謀長

各警備隊

長

各海軍練習聯合航空總隊

海軍大臣ノ招集スル會議ニ關スル件申進

大東亞戰爭中昭和十二年官房第一二三二號ニ依ル海軍大臣ノ招集スル會議ハ取止メラレ候

(諸例則卷一、七二七頁參照)

艦本第一一號ノ四八九八

昭和十八年十二月十六日

海軍艦政本部總務部長

海軍航空本部總務部長

各海軍軍需部長

補給用兵備品取扱手續ニ關スル件通知

一三六三

0694

官房經第一〇三二號ヲ以テ補給用兵備品取扱規程停止
 相成候處之ニ伴ヒ昭和十七年一月二十七日艦本第ヲ三
 號ノ四三八ニ依ル首題ノ件自然消滅ノ義ト了知相成度
 追テ同號ニ依リ兵備品會計官吏又ハ兵備品補給主任
 ノ送付スベキ書類ハ自今各關係經理規程所定ニ依ル
 モノニ付申添候

航本機密兵無線第一三四號

昭和十八年十二月十六日

海軍航空本部總務部長

- 第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百
- 海軍航空隊司令 殿
- 海軍航空廠長
- 海軍航空技術廠總務部長
- 海軍航空廠大分支廠長
- 海軍航空廠鹿屋支廠長
- 海軍航空廠各
- 外戰部隊、外地海軍航空廠等ニ對シ空輸
 補給スル航空機ニ裝備スベキ無線兵器ノ
 裝備實施處理其ノ他ニ關スル件照會(通
 信長主管航空)

昭和十六年十二月三十一日官房機密第一二六六三號
 (昭和十六年十二月三十一日海軍公報(部内限) 參照)

關聯

昭和十六年六月十八日航本機密第五九八〇號照會(昭
 和十六年六月十九日海軍公報(部内限) 參照) 及昭和
 十六年十二月十六日航本機密第一二八三二號照會(昭
 和十六年十二月十八日海軍公報(部内限) 參照) 中無
 線兵裝ノ實施並兵器處理其ノ他ニ關シテハ昭和十九年
 一月一日以降左記要領ニ依ルコトニ取計相成度

追而昭和十七年一月十四日艦本機密兵無線第一〇號
 (昭和十七年一月十四日海軍公報(部内限) 參照) ハ
 之ヲ廢止ス

記

一、外戰部隊、外地海軍航空廠(支廠ヲ含ム) 並第四
 十一、第五十一、第六十一海軍航空廠ニ補給ノ目的
 ヲ以テ空輸スベキ航空機(完備)ニ對スル無線兵裝
 ハ内地ニ於ケル空輸準備基地ノ海軍航空廠之ヲ担任
 實施スルモノトス

但シ名古屋及小泉海軍航空監督官ニ於テ空輸準備ヲ
 直接所掌スルモノニ對シテハ第二海軍航空廠ノ担任
 トス

- 二 右裝備ニ要スル兵器ハ海軍航空本部ヨリ豫メ各部ニ送付スル空輸豫定表(豫定外ノモノニ對シテハ其ノ都度通知)ニ依リ担任スベキ海軍航空廠ニ於テ準備スルモノトス
- 三 艦船部隊ハ右航空機受領ノ際裝備シアル無線兵器ノ供給ヲ受ケタルモノトシ之ガ爲定數過剩トナリタル場合ハ速ニ最寄海軍航空廠ニ還納スルモノトス
- 四 空輸機ニ對シ無線兵器ヲ實施セル海軍航空廠ハ空輸實施ノ都度速ニ別表書式ニ依リ空輸機裝備ノ無線兵器種別數等ヲ海軍航空本部ニ通知スルモノトス
- 五 艦船部隊ニシテ右空輸ニ依リ無線兵器受領ノ際ハ其ノ都度速ニ別表書式ニ依リ受領無線兵器ノ種別數等ヲ空輸元海軍航空廠及海軍航空本部ニ通知スルト共ニ海軍兵備會計規程戰時特例第五條ニ依リ受込手續(右兵器受領ニ依リ定數過剩トナリタル場合ハ還納手續ヲ併セ)ヲ爲スモノトス
- 六 空輸補充ノ途上ニ生ジタル兵器ノ故障缺損ニ對シテハ空輸廳ノ責任トシ所定ノ手續ヲ行フモノトス
- 七 空輸ニ伴フ保管轉換ハ通牒セズ

(別表書式一葉添)

○ 辭令

海軍主計中尉 今村 讓
 第二百三設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(付當支出官海軍省 經理局長)

○ 雜 款

○入隊者順路
 香取海軍航空隊(假稱)ニ入隊ノ者ハ總武本線千湯驛下車ノコトト致サレ度
 (香取海軍航空隊(假稱)設立準備委員長)

○ 事務開始

呂號第十六潜水艦艇裝具事務所ハ十一月一日神戸川崎造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

河和海軍航空隊岡崎分遣隊設立準備員事務所ハ十二月一日愛知縣碧海郡矢作町大字北野ニ於テ事務ヲ開始セリ

燒津海軍航空基地(假稱)設立準備事務所ハ十二月十日靜岡縣志太郡靜濱村ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所移轉
第十一海軍航空廠ハ十二月一日吳市海岸通八丁目(元吳海軍々需部貯炭場跡)ニ移轉シ事務ヲ開始セリ

○解隊
霞ヶ浦海軍航空隊千歳分遣隊ハ十二月一日解隊殘務整理ハ十二月一日ヨリ松島航空基地ニ於テ事務ヲ開始セリ

(霞ヶ浦海軍航空隊千歳分遣隊
殘務整理員)

○事務所撤去
驅逐艦岸波艦裝員事務所ハ十二月三日之ヲ撤去セリ

0697

(別表書式)

(昭和十八年十二月十七日海軍公報(部内限))

空輸裝備無線兵器發送(受領)通知票

應 名

空輸 區分	空輸 元名	空輸 先名	搭載 無線 兵器 名	數量	裝備 セル 航空 機ノ 機種 並機 體番 號	機 種 變 更 別 記 事

備考 空輸區分ハ發送通知票ノミニ記載スルモノトス

0698

海軍公報 (部内限) 第四千五百六十九號

昭和十八年十二月十八日 (主)
海軍大臣官房

○令 達

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

官房人機密第一〇三七號
本年十二月十五日現在水上機母艦千歳ノ職員タル者ハ
特ニ發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ航空
母艦千歳ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ
昭和十八年十二月十五日
海軍大臣

官房人機密第一〇三八號
本年十二月十五日現在水上機母艦千代田ノ職員タル者
ハ特ニ發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ航
空母艦千代田ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得
ベシ
昭和十八年十二月十五日
海軍大臣

官房第一三九九號
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

公稱番號	船種	舊所屬	新所屬	定數	記事
第一〇九號	與船兼交通船 (四百四十六噸)	舞鶴防備隊	舞鶴海軍運輸部	臨時附屬	
第二三三號	飛行機救難船 (三百噸)	宇佐海軍航空隊	大分海軍航空隊	同	
第二三六號	同	元山海軍航空隊	同	同	
第二三七號	同	東港海軍航空隊	同	同	
第二五八號	內 火 艇 (十五米)	第二海軍航空廠	橫須賀海軍司令部 (第四軍部)	同	
第八八四號	同	本更津航空基地	河和海軍航空隊	補充數	
第三三三號	同	博多海軍航空隊	松山航空基地	同	
第三三九號	內 火 傳 馬 船 (十二米)	同	同	同	
第三三九號	同	上海航空基地	北浦海軍航空隊	同	
第三三九號	同	同	同	同	

海軍公報 (部内限) 第四千五百六十九號 昭和十八年十二月十八日

三六七

0699

第四三號	特型運貨船 (十四米)	備隊	備隊	臨時
第五七號	同	備隊	備隊	同
		備隊	備隊	同
		備隊	備隊	同

官房軍第一四〇〇號

海軍省軍需局整備班規程左ノ通定ム

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

海軍省軍需局整備班規程

第一條 當分ノ間海軍省軍需局ニ整備班ヲ置ク

第二條 整備班ハ海軍省軍需局第二課ノ所掌ニ屬スル

左ノ事務ヲ分掌ス

一、燃料關係施設ノ配備及裝置ノ調査及案畫ニ關スル事項

二、燃料關係ノ裝置、部品及資材ノ發註及調達ノ調査及案畫ニ關スル事項

第三條 整備班ニ班長及班員ヲ置ク

第四條 班長及班員ハ軍需局長之ヲ命ズ

第五條 班長ハ軍需局長ノ命ヲ承ケ班ノ事務ヲ掌理ス

第六條 班員ハ班長ノ命ヲ承ケ服務ス

官房人機密第一〇三九號

海軍退職賞與內規中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月十七日 海軍大臣

第二條中「海軍大臣之ヲ行ヒ」ノ下ニ「特務士官及准士官以下ノ軍人ニ在リテハ在籍領守府司令長官、」ヲ

加フ

第三條削除

第四條中「(別紙書式第三)」ヲ「(別紙書式第一)」ニ

改ム

第五條中「所屬長官ニ具申スベシ(別紙書式第二ニ準

ズ)」ヲ「海軍文官進級増俸取扱規則別表第一號所屬ノ

判任文官同待遇者ニ在リテハ海軍大臣ニ、其ノ他ニ在

リテハ所屬長官ニ具申スベシ(別紙書式第一ニ準ズ)」

ニ改ム

第六條中「別紙書式第三」ヲ「別紙書式第二」ニ改ム

第十七條中「(別紙書式第四)」ヲ「(別紙書式第三)」

ニ改ム

0700

別紙「書式第二」ヲ「書式第一」ニ、「書式第三」ヲ「書式第二」ニ、「書式第四」ヲ「書式第三」ニ改ム

官房人機密第三三七號ノ二

昭和十八年官房人機密第三三七號中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

第一號中「特務士官以下ノ軍人ニ付テハ在籍鎮守府司令長官、」ヲ削ル

第二號中「特務士官、准士官、下士官、兵」ヲ削ル

官房經機密第六四四號ノ二

昭和十八年官房經機密第六四四號中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

第二號第二項中「召致地ヨリ指定配屬地ニ」ヲ「召致地指定配屬地間又ハ指定配屬地相互間ヲ」ニ、但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ着後手當及支度料ハ之ヲ支給セザルモノトシ豫備學生ニ支給スル海軍内國旅費規則ニ依ル移轉料ハ同則第六表ノ定額ノ二分ノ一トス

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(參照) 昭和十八年九月二十九日海軍公報(部内限)

官房經機密第九四四號ノ二

海軍戰時特例給與規則中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

第九條中「南洋群島ニ在ル者及」ヲ削ル

第九條ノ二 南島島及新南群島ニ在ル者ニ支給スル宿舍手當ハ第七條ノ規定ニ拘ラズ海軍給與令第八表

(乙額)ニ依ル

第一表ノ(ロ)中「(南島島、新南群島及南洋群島ニ在リテハ十分ノ十四)」及「(南島島、新南群島及南洋群島ニ在リテハ八十圓)」ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十五年官房第六一七四號及昭和十六年官房第二九六二號ハ昭和十八年十一月三十日限り之ヲ廢止ス

(參照) 海軍機密會計法規程第一〇二頁

海軍公報(部内限)第四千五百六十九號 昭和十八年十二月十八日

一三六九

0701

海軍會計法規類集二卷八〇八ノ三六頁
海軍會計法規類集二卷八〇八ノ三八頁

官房需第二〇九號ノ三

昭和十八年官房需第二〇九號中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

別表第四中(精麥)ノ項換給品種量額及記事ノ欄携帶糧食ノ次ニ左ノ如ク加フ

餅(罐詰餅ヲ含ム)	一、二〇〇〇	括弧内量額ハ内地、朝鮮、臺灣、樺太及關東州ニ在ル者ニ給スル場合ノ日額量ヲ示ス
餅ノ素	六〇〇〇	
	(五四〇)	

(參照) 昭和十八年官房需第二〇九號(昭和一八、九、二八海軍公報部内限號外)

官房需第二〇九號ノ四

當分ノ間潜水艦乗員ニハ昭和十八年官房需第二〇九號別表第一又ハ第二ノ規定ニ依ルノ外凝脂(バター)日額二〇瓦以内増給スルコトヲ得

昭和十八年十二月十七日

海軍大臣

(參照) 昭和十八年官房需第二〇九號(昭和一八、九、二八海軍公報部内限號外)

報(部内限)號外)

○通牒

官房備機密第一四五號ノ二五

昭和十八年十二月十七日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房備機密第一四五號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄所在地區別符表(其ノ四)中ニ「ビアク島」セ五

五」ヲ加フ

附錄部隊區別符表(其ノ一)中「吳鎮第六特陸」ウ壹九

四」ヲ「第八十八警備隊」ウ壹九四」ニ「第八聯合特陸

ウ壹九九」ヲ「第十四根據地隊」ウ壹九九」ニ「橫鎮第

七特陸」ウ貳〇〇」ヲ「第八十九警備隊」ウ貳〇〇」ニ

改メ「第六十五防空隊」ウ參壹五」第六艦隊司令部」ウ

參壹六」ヲ加フ

同(其ノ二)中ニ「第三南遣艦隊司令部」テ參六」ヲ

加フ

0702

同(其ノ三)中「第三南遣艦隊司令部イ七四」ヲ削
ル
同(其ノ四)中「第二百三設營隊セ壹〇八」「第二
百二設營隊セ壹〇九」「第二百十三設營隊セ壹壹〇」
「第二十警備隊セ壹壹壹」ヲ加フ
別表海軍軍用郵便所及同派出所一覽表中第三十六海軍
軍用郵便所ノ項ニ「第一派出所カビエン」ヲ第四十二
海軍軍用郵便所ノ項ニ「第二派出所ニコバル」ヲ加フ

軍務一第二四二號

昭和十八年十二月十七日

海軍省軍務局長

各鎮守府參謀長
大湊 殿
鎮海 警備府參謀長
大阪

臨時經理部長打合會議開催ノ件申進

臨時經理部長打合會議左記ニ依リ開催相成候條開催時
刻前迄ニ海軍省ニ參集セシメラレ度
追テ所要旅費ハ請求ヲ俟テ配付セラレ候

記

一、開催日時 昭和十九年一月十七、十八兩日

海軍公報(部内限) 第四千五百六十九號 昭和十八年十二月十八日

午前九時十五分開始
二 主宰者 海軍經理局長
三 參集者 横須賀、吳、佐世保、舞鶴、大湊、鎮
海、大阪各海軍經理部長
四 打合事項 昭和十八、十九年度豫算、契約及給與
等ニ關シ急速處理ヲ要スル事項

教育機密第三九三號

昭和十八年十二月十六日

海軍省教育局長

海軍省人事局長

關係廳長殿

一般兵科豫備學生出身海軍豫備將校ノ指
導ニ關スル件申進

首題兵科豫備將校中海軍豫備學生教程ノ最初ヨリ實務
ニ服シ又ハ其ノ基礎教程ヲ修得シタル後教授等特殊配
置ニ充當セラレタル者ヲ除キ其ノ基礎教程ニ引續キ專
修別ニ依リ各術科學校等ニ於テ術科教程ヲ修得シ海軍
少尉(海軍豫備員)ニ任用ノ上各部隊等ニ配員セラレ
又ハ任官後更ニ特定科目ノ講習ヲ履修シ服務中ノ此等
兵科豫備將校ノ指導ニ關シテハ其ノ專修(特修)セル
術科能力ヲ基準トシ左記參照ノ上今後其ノ固有ノ分隊

一三七二

0703

長級幹部トシ一般兵科將校ニ代リ勤務シ得ル様指導相成度

記

番號	專修別術科學校名	同上術科修得ノ目標	同上修得者ノ配員上注意スベキ事項
一	館山海軍砲術學校(防空班)	防空隊小隊長	<p>一 何レモ上記ノ如ク一科目ヲノミ專修シタル者ナルヲ以テ其ノ科目關係初級兵科將校代用トシテ服務シ得</p> <p>二 配置決定前豫メ個人ニ付其ノ專修ノ科目又ハ履修講習科目ヲ調査シ夫レニ應ジ配置ヲ定ムルヲ要ス、即チ專修以外ノ科目關係ノ配置ニ配シ又ハ海上一般勤務ニ服セシムルハ適當ナラス</p>
二	同 右(特陸班)	特陸小隊長	
三	海軍水雷學校	魚雷艇艇長	
四	海軍機雷學校(艦艇班)	防備艦艇乘組	
五	同 右(衛所班)	防備衛所長(乙)(丙)	
六	廣須賀海軍通信學校(通信班)	暗號士又ハ陸上部隊通信士	
七	同 右(特班)	特務班初級士官	
八	同 右(電測班)	特設見張所長又ハ電測關係初級士官	
九	海軍航海學校(測量班)	測量關係初級士官	
一〇	同 右(氣象班)	氣象部隊小隊長	
一一	海軍工機學校	魚雷艇隊基地隊附初級士官 (機關整備關係初級士官)	

0704

經給第七八八號

昭和十八年十二月十四日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

臨時非常作業ニ從事シタル工員ニ非常食
支給ニ關スル件通牒

戰時海軍工員規則第七十九條ノ規定ニ依リ給與スル非
常食ハ特別ノ作業ノ爲急據出場スル場合又ハ天災其ノ
他緊急ノ場合ニシテ各自ニ於テ食事ノ準備困難ナルト
キニ限リ左記ニ依リ給與スル義ト了知相成度

記

一 品種、數量

一人日額 乾パン一・二〇瓦及砂糖二〇瓦以内

但シ入手困難等ニ依リ換給ヲ要スルト
キハ昭和十八年官房需第二〇九號別表
第四ヲ標準トス

二 整理方法

附屬費支辨(整理符號一三)

(註) 左記各號ハ自然消滅トス

昭和十六年艦本第八號ノ一〇三三

(海軍機密會計法規類集一八〇頁)

昭和十六年艦本第八號ノ二二一九

(海軍機密會計法規類集一八〇頁)

航本機密第一七三〇七號

昭和十八年十二月十六日

海軍航空本部總務部長

關係各廳長殿

各海軍航空隊、航空母艦、水上機母艦及
飛行機搭載艦教育年度航空機平時訓練用
更新年額表返却ニ關スル件照會

首題ノ件ハ昭和十五年內令兵第五號ヲ以テ教育年度更
新數算定率決定セラレ候條昭和十四年度以前ノ各廳保
管中ノ該表ハ速ニ當部宛返却相成度

○ 雜 款

○ 文書再送ニ關スル件

十二月十四日横須賀郵便局逸見分室火災ノ爲横須賀郵
便局ヲ經由スル艦船宛郵便物中十一月二十五日ヨリ十
二月十四日迄ニ到着セルモノ大半(十二月十四
日朝在泊セル艦船宛ノモノハ僅少ノ見込)ヲ燒失セル
ニ付不達ノ惧アルモノハ再送方取計相成度

(横須賀鎮守府副官)

海軍公報(部内限) 第四千五百六十九號

昭和十八年十二月十八日

一三七三

0705

○家族移轉料支給上勤務地指定ノ件
昭和十六年官房第七二一號ニ依ル首題ノ件左記ノ通

記

北東方面艦隊司令部

横濱市(横濱航空基地)
(北東方面艦隊司令部)

0706

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百七十號

昭和十八年十二月二十日(月)
海軍大臣官房

○通牒

軍務一機密第九八七號

昭和十八年十二月十六日

海軍省軍務局長

海軍兵學校校長
海軍機關學校校長
海軍經理學校校長

冬季休業等ニ關スル件申進

首題ノ件左記ノ通定メラレ候

記

海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校等ニ於ケル
今期冬季休業ハ之ヲ取止メ最高學生徒ニ對シテハ來
年度卒業前適宜十日以内ノ休暇ヲ許可スルコトヲ得

兵備二機密第二二五七號

昭和十八年十二月十八日

海軍省兵備局長
海軍省經理局長

海軍公報(部内限) 第四千五百七十號 昭和十八年十二月二十日

一三七五

關係各廳長殿

電氣自動車工業整備並ニ契約更改ニ關ス
ル件通牒

首題ノ件ニ關シ本月二日附一八機局第二五五號ヲ以テ
軍需省機械局長ヨリ別紙ノ通依頼有之候條了知相成度
尙既契約ノ未納入分ニ就テハ左記ニ依リ處理相成度

記

一 振替區分

株式會社中島製作所及日本電氣自動車製造株式會社
ノ兩社以外ハ發註ノモノニシテ十二月末日迄ニ未納
トナルモノハ左記ニ依リ夫々振替フルモノトス

(一) 電動運搬車

株式會社中島製作所

(二) 右以外ノ電氣自動車

(イ) 大型乗合自動車、大型貨物自動車
株式會社中島製作所

(ロ) 小型貨物自動車、小型乗用車等
日本電氣自動車製造株式會社

0707

二 振替手續

- (一) 未納品ハ別紙様式ニ依リ昭和十九年一月十日迄ニ海軍省經理局長へ通知スルモノトス
- (二) 現契約ハ契約更改ニ依リ前記兩社ニ移スモノトス

- (三) 契約條件(納期、代價、資材等)ハ總テ現契約ノ儘引繼ガシムルモノトス

三 雜件

廢止工場ノ製作納入シタル自動車ニ對スル修理業務ハ殘存兩社ニ於テ引受クルモノトス

(様式添)

(別紙)

一八機局第二五五號

昭和十八年十二月二日

軍需省機械局長 美濃部 洋次

海軍省兵備局長 海軍省經理局長 殿

電氣自動車工業ノ整備ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ今般製造業者七社中株式會社中島製作所及日本電氣自動車製造株式會社ノ二社ヲ存置シ大阪車體製造株式會社外四社ハ當該事業ヲ廢止シ生産ノ集

中合理化ヲ圖ルコト相成候ニ就テハ其旨貴管下官衙ニ周知方御配意相煩度此段及依頼候也
追而既契約ノ未納入分ニ就テハ左記ニ依リ處理致度候條御承知相成度申添候

一 大阪車體製造株式會社、株式會社名古屋自動車製作所、石産精工株式會社、株式會社神戸製鋼所及東光電氣株式會社ハ昭和十八年十二月末ヲ以テ製造ヲ打切ルコト但シ神戸製鋼所ノ乗合自動車八臺ニ限リソノ車體完成ガ昭和十九年ニ及ブコトハ己ムヲ得ザルモノト考ヘラルルヲ以テ特ニ例外トシテ之ヲ認メルコト

二 昭和十八年十二月末迄ニ製作完了ノ見込ナキ車輛ニ就テハ前項但書ノ場合ヲ除キ發註者トノ契約ヲ總テ存置業者ニ振替ヘルコト

水機密第九八號ノ一〇

昭和十八年十一月一日

水路部長

關係各廳長殿

海軍兵備品會計規程戰時特例ノ施行ニ伴フ水路圖誌及航空圖誌經理規程ノ施行方等ニ關スル件申進

0708

官房經第一〇三二號ニ依ル首題特例施行ニ伴フ水路圖誌及航空圖誌經理規程ノ施行其ノ他ニ關シ左記ニ依リ處理相成度

記

一 水路圖誌及航空圖誌經理規程

- (一) 第九條第一項但書及第二項ヲ除クノ外凡テ供給拂トシ供給スルモノトス
- (二) 第十一條ノ兵備品會計官吏ニ關スル規定ハ之ヲ兵備品補給主任ニ準用ス但シ同條第三項ノ保管轉換手續ハ之ニ代フルニ「通報」手續ヲ行フモノトス
- (三) 第十三條乃至第十七條及第十九條ノ規定ハ之ヲ兵備品補給主任ニ準用ス
- (四) 第十六條ノ規定ハ之ヲ兵備品取扱主任ニ準用ス但シ此ノ場合ニ於テハ離權票寫ニ秘密圖誌番號記載ノ部分又ハ表紙ヲ添附シ所管海軍軍需部兵備品會計官吏ニ送付スルモノトス
- (五) 兵備品取扱主任定數以上ニ保有スル場合ニ於テハ所管兵備品會計官吏供給ノモノノ外之ヲ還納スベシ

二 通報

秘密水路圖誌及秘密航空圖誌ニ限リ左ノ場合通報ヲ爲スモノトス

- (一) 兵備品會計官吏他所管ノ兵備品補給主任又ハ兵備品取扱主任ニ秘密水路圖誌及秘密航空圖誌ヲ供給シ又ハ之ヨリ還納受シタルトキハ供給票又ハ還納票ノ寫ヲ作り所管海軍軍需部兵備品會計官吏ニ通報ス
- (二) 兵備品補給主任秘密水路圖誌及秘密航空圖誌ヲ兵備品取扱主任ニ供給シ又ハ之ヨリ還納受シタルトキハ供給票又ハ還納票ノ寫ヲ作り各兵備品補給主任所管ノ海軍軍需部兵備品會計官吏ニ通報ス
- (三) 兵備品補給主任相互間ニ於テ秘密水路圖誌及秘密航空圖誌ヲ供給シタルトキハ供給拂シタル兵備品補給主任ハ各兵備品補給主任所管ノ兵備品會計官吏ニ通報ス
- (四) 兵備品取扱主任相互間ノ供給ニ付亦同ジ
- (五) 兵備品會計官吏ハ所管艦船其ノ籍ヲ轉ジタルトキハ兵備品取扱主任ニ供給ノ秘密水路圖誌及秘密航空圖誌調書ヲ作り所管海軍軍需部兵備品會計官吏ニ通報ス

三 供給整理

海軍公報(部内限)第四百五百七十號

昭和十八年十二月二十日

一三七七

0709

兵備品會計官吏ハ祕密水路圖誌及祕密航空圖誌ニ關シテハ兵備品出納原簿ノ外供給原簿(様式適宜)ヲ備ヘ所管艦船部隊等ニ對スル供給狀況ヲ登記整理スルモノトス

○ 辭 令

臺灣總督府專賣局屬 大山 英男
海南警備府附ヲ免ス(註前海軍省)

臺灣總督府地方技師 野上 磯市
高雄海軍施設部ニ於ケル土木業務ヲ囑託ス

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上註前同)
福井 末演

海軍中佐 吉松 田守
第一課勤務ヲ命ス(註前海軍省軍務局)

○ 雜 款

○事務所撤去
驅逐艦沖波艦裝具事務所ハ十二月十日之ヲ撤去セリ

0710

(様式)

未納電気自動車調

(昭和十八年十二月二十日海軍公報(部内限))

昭和十八年十二月末日現在

(發註廳名)

品名	未納臺數	舊會社名	振替先會社名

(備考)

- 一 振替先未決定ノモノハ其ノ旨明記スルコト
- 二 前號ニ對シテハ經理局ハ軍需省ト連絡ノ上振替會社ヲ選定シ關係廳宛通知ス

0711

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年十二月二十日(月)

海軍大臣官房

○郵便物發送先通知 (宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

- 一 秋風、樫丸、たつ丸、松風
- 一 隱戸
- 一 伊十潜司令部
- 一 第八潜水戦隊司令部
- 一 皐月、第一一五魚雷艇、第一一六魚雷艇、第一一七魚雷艇
- 一 第一〇五驅潜特務艇、第一〇六驅潜特務艇、第一〇七驅潜特務艇、第一〇八驅潜特務艇、第一〇九驅潜特務艇、第一一〇驅潜特務艇、第一一一驅潜特務艇、第一一二驅潜特務艇、第一一三驅潜特務艇、第一一四驅潜特務艇、第一一五驅潜特務艇、第一一六驅潜特務艇、第一一七驅潜特務艇、第一一八驅潜特務艇、第一一九驅潜特務艇、第一二〇驅潜特務艇、第一二一驅潜特務艇、第一二二驅潜特務艇、第一二三驅潜特務艇、第一二四驅潜特務艇、第一二五驅潜特務艇、第一二六驅潜特務艇、第一二七驅潜特務艇、第一二八驅潜特務艇、第一二九驅潜特務艇、第一三〇驅潜特務艇、第一三一驅潜特務艇、第一三二驅潜特務艇、第一三三驅潜特務艇、第一三四驅潜特務艇、第一三五驅潜特務艇、第一三六驅潜特務艇、第一三七驅潜特務艇、第一三八驅潜特務艇、第一三九驅潜特務艇、第一四〇驅潜特務艇、第一四一驅潜特務艇、第一四二驅潜特務艇、第一四三驅潜特務艇、第一四四驅潜特務艇、第一四五驅潜特務艇、第一四六驅潜特務艇、第一四七驅潜特務艇、第一四八驅潜特務艇、第一四九驅潜特務艇、第一五〇驅潜特務艇、第一五一驅潜特務艇、第一五二驅潜特務艇、第一五三驅潜特務艇、第一五四驅潜特務艇、第一五五驅潜特務艇、第一五六驅潜特務艇、第一五七驅潜特務艇、第一五八驅潜特務艇、第一五九驅潜特務艇、第一六〇驅潜特務艇、第一六一驅潜特務艇、第一六二驅潜特務艇、第一六三驅潜特務艇、第一六四驅潜特務艇、第一六五驅潜特務艇、第一六六驅潜特務艇、第一六七驅潜特務艇、第一六八驅潜特務艇、第一六九驅潜特務艇、第一七〇驅潜特務艇、第一七一驅潜特務艇、第一七二驅潜特務艇、第一七三驅潜特務艇、第一七四驅潜特務艇、第一七五驅潜特務艇、第一七六驅潜特務艇、第一七七驅潜特務艇、第一七八驅潜特務艇、第一七九驅潜特務艇、第一八〇驅潜特務艇、第一八一驅潜特務艇、第一八二驅潜特務艇、第一八三驅潜特務艇、第一八四驅潜特務艇、第一八五驅潜特務艇、第一八六驅潜特務艇、第一八七驅潜特務艇、第一八八驅潜特務艇、第一八九驅潜特務艇、第一九〇驅潜特務艇、第一九一驅潜特務艇、第一九二驅潜特務艇、第一九三驅潜特務艇、第一九四驅潜特務艇、第一九五驅潜特務艇、第一九六驅潜特務艇、第一九七驅潜特務艇、第一九八驅潜特務艇、第一九九驅潜特務艇、第二〇〇驅潜特務艇
- 一 第十一長盛丸、第一太山丸、第五石産丸、い號秋津丸、第四十六驅潜艇

横須賀局氣付 秋風、樫丸、たつ丸、松風

吳局氣付 隱戸

佐世保局氣付 伊十潜司令部

同 「イ貳〇イ壹五」司令部

横須賀局氣付 皐月、第一一五魚雷艇、第一一六魚雷艇、第一一七魚雷艇

吳局氣付

第一〇五驅潜特務艇、第一〇六驅潜特務艇、第一〇七驅潜特務艇、第一〇八驅潜特務艇、第一〇九驅潜特務艇、第一一〇驅潜特務艇、第一一一驅潜特務艇、第一一二驅潜特務艇、第一一三驅潜特務艇、第一一四驅潜特務艇、第一一五驅潜特務艇、第一一六驅潜特務艇、第一一七驅潜特務艇、第一一八驅潜特務艇、第一一九驅潜特務艇、第一二〇驅潜特務艇、第一二一驅潜特務艇、第一二二驅潜特務艇、第一二三驅潜特務艇、第一二四驅潜特務艇、第一二五驅潜特務艇、第一二六驅潜特務艇、第一二七驅潜特務艇、第一二八驅潜特務艇、第一二九驅潜特務艇、第一三〇驅潜特務艇、第一三一驅潜特務艇、第一三二驅潜特務艇、第一三三驅潜特務艇、第一三四驅潜特務艇、第一三五驅潜特務艇、第一三六驅潜特務艇、第一三七驅潜特務艇、第一三八驅潜特務艇、第一三九驅潜特務艇、第一四〇驅潜特務艇、第一四一驅潜特務艇、第一四二驅潜特務艇、第一四三驅潜特務艇、第一四四驅潜特務艇、第一四五驅潜特務艇、第一四六驅潜特務艇、第一四七驅潜特務艇、第一四八驅潜特務艇、第一四九驅潜特務艇、第一五〇驅潜特務艇、第一五一驅潜特務艇、第一五二驅潜特務艇、第一五三驅潜特務艇、第一五四驅潜特務艇、第一五五驅潜特務艇、第一五六驅潜特務艇、第一五七驅潜特務艇、第一五八驅潜特務艇、第一五九驅潜特務艇、第一六〇驅潜特務艇、第一六一驅潜特務艇、第一六二驅潜特務艇、第一六三驅潜特務艇、第一六四驅潜特務艇、第一六五驅潜特務艇、第一六六驅潜特務艇、第一六七驅潜特務艇、第一六八驅潜特務艇、第一六九驅潜特務艇、第一七〇驅潜特務艇、第一七一驅潜特務艇、第一七二驅潜特務艇、第一七三驅潜特務艇、第一七四驅潜特務艇、第一七五驅潜特務艇、第一七六驅潜特務艇、第一七七驅潜特務艇、第一七八驅潜特務艇、第一七九驅潜特務艇、第一八〇驅潜特務艇、第一八一驅潜特務艇、第一八二驅潜特務艇、第一八三驅潜特務艇、第一八四驅潜特務艇、第一八五驅潜特務艇、第一八六驅潜特務艇、第一八七驅潜特務艇、第一八八驅潜特務艇、第一八九驅潜特務艇、第一九〇驅潜特務艇、第一九一驅潜特務艇、第一九二驅潜特務艇、第一九三驅潜特務艇、第一九四驅潜特務艇、第一九五驅潜特務艇、第一九六驅潜特務艇、第一九七驅潜特務艇、第一九八驅潜特務艇、第一九九驅潜特務艇、第二〇〇驅潜特務艇

海軍公報 (部内限) 號外

一〇五

0712

○陸上ノ部

第二十六航戰司令部	横須賀局氣付	「ウ壹〇五 ヲ壹七壹」
第二五一航空隊	同	「ウ壹〇五 ヲ壹參四」
第十八設營隊	同	「ウ壹壹壹 ヲ壹七五」
第二百二設營隊	同	「七五五 七壹〇九」
第二十警備隊	同	「七四〇 七壹壹壹」
第五十五防空隊	同	「一九六」
第十三警備隊	佐世保局氣付	「イ參壹 一七七」
第三十四防空隊	同	「イ壹九 一九四」
第七十防空隊	同	「イ壹九 一七參」經由「一九七」
小松島航空隊河和分遣隊	愛知縣知多郡河和町 小松島航空隊河和分遣隊	
第二〇二航空隊	吳局氣付	「セ壹四 ヲ七參」
第七十防空隊	佐世保局氣付	「イ壹九 一九七」
第二十五警備隊	同	「イ參〇 一壹〇〇」
霞ヶ浦航空隊松島分遣隊	松島航空基地氣付 霞ヶ浦航空隊松島分遣隊	

隊、司令、主計長宛
機關長宛
軍醫長宛

第三鮮友丸
第三江口丸
第二鮮友丸
(第三十二掃海隊)

0713

海軍公報

(部内限) 第四千五百七十一號

海軍大臣官房

昭和十八年十二月二十一日(火)

○令達

官房軍第一四一一號
舞鶴海軍工廠ニ於テ武智造船所ニ委託製造セル「コンクリート」製油槽船ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十八年十二月二十日

海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	定數別	記事
自第七三號至第七四號	重油船 (七百噸積) (五隻)	吳海軍軍需部	臨時附屬	

○通牒

軍務一第二四四號

昭和十八年十二月二十日

海軍省軍務局長

海軍公報(部内限) 第四千五百七十一號

昭和十八年十二月二十一日

一三七九

各鎮守府參謀長
各警備府參謀長
海軍兵學校長
海軍機關學校長
海軍經理學校長
殿

首題ノ件左記ノ通定メラレ候
學校海兵團ニ看護婦配員ニ關スル件申進

記

一 看護婦ヲ配員スベキ應
生徒學校

術科學校

新兵海兵團(含新兵應急收容施設)

二 看護婦配員標準

(イ) 生徒學校

生徒在校員數ノ百五十分ノ一

(ロ) 術科學校

新兵在校員ノ二百分ノ一

練習生在校員數ノ三分分ノ一

豫備學生在校員數ノ百五十分ノ一

0714

(ハ) 新兵海兵團(含新兵應急收容施設)

新兵在團員數ノ二百分ノ一
右ノ外一般定員ノ三分分ノ一ヲ配ス

三 看護婦採用上必要ナル準備事項

構内ニ看護婦宿舍ヲ整備ス

(イ) 看護婦ニハ病院勤務ノ看護婦ニ準ジ食料又ハ粗食ヲ給シ且制服ヲ貸與シ得ル如クス

四 看護婦ハ日本赤十字社ヨリ海軍病院所屬ノ救護班トシテ派遣ヲ受ケ所屬ノ海軍病院ヨリ所要各部ニ派遣ノコトトシ之ガ全般統制ハ醫務局ニテ之ヲ行フ

五 本件ニ依ル看護婦ハ概ネ昭和十九年一月末ヨリ配員スル如ク處置ス

海人第一號ノ二〇七
昭和十八年十二月二十日

海軍省人事局長
海軍省教育局長

各鎮守府參謀長
海軍兵學校校長 殿

海軍兵學校選修學生採用取止メノ件申進

本年官房教第一〇號告達中海軍兵學校選修學生ノ採用

ハ取止メノコトニ定メラレ候

艦本機密第一一號ノ一七七七〇

昭和十八年十二月二十日

海軍艦政本部總務部長
海軍航空本部總務部長

關係各廳長殿

移管ニ伴フ兵器名竝ニ供用兵器ニ關スル
件中改正ノ件申進

艦本機密第一一號ノ七一二〇首題ノ件中左記ノ通改正
セラレ候

記

一 本文記第一號中「航空基地關係」ヲ「航空基地關係(附屬雜役船ヲ除ク)」ニ改ム

二 同 第二號中「航空戰隊司令部」ヲ「航空戰隊司令部(機關長主管ヲ除ク)」ニ改ム

三 別紙無線兵器及電氣兵器ノ品名ノ末尾ニ夫々「其ノ他「空」ヲ附シ註文セル兵器全部」ヲ加フ

艦本機密第一七四四八號

昭和十八年十一月二十日

海軍航空本部總務部長

0715

沼津海軍工廠 總務部長

第一、第二 海軍航空廠總務部長

第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第四十二 海軍航空廠長

第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、名古屋 海軍監督長

在東京、大阪、神戸

真空管生産統制ニ關スル件申進
首題ノ件物資需給並ニ計畫生産ノ圓滑化ヲ計ル目的ヲ以テ左記ニ依リ實施セラレ候條了知相成度

記
一 實施要領
(イ) 海軍航空本部ハ主要真空管年度生産計畫ヲ立案シ各真空管製造會社ノ生産能力ヲ確保スルモノトス

(ロ) 部内各廠又ハ部外關係工場ニ於テ真空管ノ入手ヲ必要トスル場合ハ緩急順序ニ應ジ生産計畫ニ依リ製造中ノモノノ一部ヲ充當シ若クハ其ノ能力ノ一部ヲ分割シテノ要求ヲ充足スルモノトス

(ハ) 當該真空管ハ要求元タル部内各廠又ハ部外關係工場ヨリ直接真空管製造會社ニ發註スルモノトス

二 入手手續

(イ) 真空管要求元ハ註文ニ先立テ真空管斡旋要求票(別紙書式)三通ニ所定ノ事項ヲ記入シ海軍航空本部第四部宛送付スルモノトス

(ロ) 同部ニ於テハ年度生産計畫ト對照シ之ニ製造會社名及製造時期並ニ整理番號ヲ記入ノ上内一通ヲ要求元ニ返送スルモノトス

要求元ハ之ニ依リ真空管製造會社ニ註文手續ヲ爲スモノトス

(ハ) 海軍航空本部ハ前項ノ決定ニ基キ製造會社ニ製品充當又ハ新製作方ヲ手配スルモノトス

(ニ) 要求元製造會社間ノ折衝ニハ總テ整理番號ヲ用フルモノトス

三 適用範圍
海軍航空本部所掌兵器並ニ施設用真空管全部(真空管ニ準ジ取扱フベキモノヲ含ム)

四 所要資材
海軍航空本部ニ於テ處理スルヲ例トスルモ特殊ノモノニアリテハ其ノ都度協議スルモノトス

五 實施時期
昭和十八年十二月一日以降本方式ニ依リ施行スルモ

海軍公報(部内限)第四百五十七一號 昭和十八年十二月二十一日

一三八一

0716

六 既註文眞空管ノ處理

ノトス
既註文ノ眞空管ニシテ昭和十八年十二月一日以降納入豫定ノモノ及納期同年十一月三十一日迄ノモノニシテ納入見込ナキモノノ處理ニ關シテハ本手續ニ準ズルモノトス但眞空管發旋要求票記事欄ニ註文番號ヲ記入スルト共ニ欄外ニ(既)ヲ朱書スルモノトス

七 其ノ他

- (イ) 特ニ至急ヲ要スルモノニ關シテハ發旋要求票欄外ニ(急)ヲ朱書シ赤紙ヲ附スルモノトス
- (ロ) 試製眞空管ハ本手續ニ準ジ實施スルモノトシ發旋要求票欄外ニ(試)ヲ朱書スルモノトス
- (ハ) 部外會社要求票ハ所管海軍監督官ヲ經由スルモノトス

(別紙添)

水機密第一九〇號

昭和十八年十二月十日

水路部長

關係各廳長殿

普通陸圖ヲ祕密地圖ニ編入ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ大本營陸軍參謀部ヨリ別紙ノ通牒有之候條了知相成度

(別紙)

大本營陸軍參謀部第八〇號第五三

普通圖ヲ祕密地圖ニ編入ノ件通牒

昭和十八年十二月四日

大本營陸軍參謀部總務課長

海軍水路部長殿

別紙目錄第一ノ普通圖ヲ祕密地圖ニ改定編入セラレタルニ付左記ニ基キ整理相成度依命通牒ス
追而右地圖竝ニ別紙目錄第二ノ地圖ハ其ノ祕密區域ヲ規定ニ據リ修正ノ上普通圖ト爲シ陸地測量部ヨリ近ク發行セラルヘキニ付爲念申添フ

左記

- 一、各部隊、官衙及學校ニ保管シアル別紙目錄ノ地圖ハ各所管毎ニ取纏メ昭和十九年一月三十一日迄ニ參謀本部ニ送付ス
- 但シ五萬及二萬五千分一地形圖ニシテ將來保管ヲ必要トスルモノハ別ニ取纏メ送付シ祕密地圖一連番號ノ記入ヲ受クルモノトス

0717

二、個人所有ノモノハ各所管毎ニ無償ニテ回收ノ上右
期日迄ニ參謀本部ニ送付スルモノトス

○ 辭 令

(各通)

通信書記 宮本 政義
通信書記補 須 貝 力
同 小泉 龍太郎

東京海軍通信隊附ヲ免ス(特許海軍省)

通信技手 牧野 一雄

(各通)

同 谷村 頼夫
同 阿部 正樹
同 本多 源治
機械工員 江村 淳

南西方面艦隊司令部附ヲ免ス(特許同)

通信書記 高 吉 等

同 稻垣 親

同 五島 正徳

同 原 勳

同 田中 鐔三

(各通)

通信書記補 石原 純逸

同 右地 安男
同 青木 一男
同 安藤 信雄
東京海軍通信隊附ヲ免シニユ一ギニア海軍民政府附
ヲ命ス(特許同)

海軍主計大尉 馬場 正夫
第百二海軍燃料廠ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂
ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同 中村 良雄
右同分任出納官吏ヲ免ス(以上特許海軍省
經理局長)

海軍主計大佐 野々垣 清次
廣島海軍督監官事務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前
渡官吏ヲ命ス

同 小澤 嘉藏
資金前渡官吏ヲ免ス(以上特許同)

海軍主計中佐 池端 鐵二
第五課勤務ヲ命ス

海軍主計少佐 沼田 理二
第二課勤務ヲ命ス

海軍主計大尉 高 島 清
第四課勤務ヲ命ス(以上特許海軍省經理局)

0718

○ 雜 款

○事務引繼

廣島海軍監督官事務所資金前渡官吏十二月二日事務引繼了了ス

記

前任 海軍主計大佐 小澤 嘉藏
後任 海軍主計大佐 野々垣 清次

○正誤

十一月三十日附公報(部内限) 辭令欄中「第百二海軍經理部パリツクバン」ニ對スル分任官吏任命月日十一月十二日トアルハ二十二日ノ、本月七日附公報(部内限) 辭令欄中海軍中佐河野通俊辭令月日「十二月一日」ハ「十一月二十五日」ノ孰モ誤

○本日普通公報發行セズ

0719

(別紙)

真空管幹旋要求票

※要求元

(昭和十八年十二月二十一日海軍公報(部内限))

整理 番 號	※順 位	※品 名	※員 數	※入 手所 時期	註 文 先	製 造 時 期	※用 途	記 事

0720

別紙

(昭和十八年十二月二十一日海軍公報(部内限))

目錄第一		梯	尺	總	稱	圖	名	梯	尺	總	稱	圖	名
大		湊		要塞		地							
五萬分一		野邊地一〇		陸奥		横濱							
吳		要塞		地									
五萬分一		廣島		三		津		五萬分一		廣島		一六岩	
同		同		四		今治西部		同		松山		一〇青	
同		同		六		海田市		同		一三		柳	
同		同		一五		大竹							
二萬五千分一		尾道及竹原近傍		一二		三津		二萬五千分一		岩國及柳井近傍		三	
同		同		一三		横島		同		同		四	
同		廣島近傍		二		原村		同		同		五	
同		同		五		海田市		同		同		六	
同		岩國及柳井近傍		二		玖波		同		同		七	
目錄第二													
二十萬分一		帝國		圖									
廣島		松山											
五十萬分一		奥地		圖									
廣島		德島											

0721

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第四千五百七十二號

昭和十八年十二月二十二日(水)

海軍大臣官房

令 達

官房教第一二〇號
左記ニ依リ海軍軍醫學校ニ於テ臨時軍醫科士官講習ヲ
施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ
昭和十八年十二月二十一日

海 軍 大 臣

記

一 講習科目

海軍軍醫學校高等科學生教程ニ準ジ戰時下軍醫科士
官ノ職務遂行上必須科目トシソノ項目ニ關シテハ海
軍軍醫學校長ノ定ムル所ニ依ル

二 講習期間

昭和十八年十二月二十日ヨリ約三ヶ月

三 講習員

海軍軍醫少佐 米川 太郎

同 武宮 先

同	野中 榮次
同	飯村 正方
同	原 康 夫
同	伊 佐 次 賢 二
同	横 澤 弥 一 郎
同	加 納 一 郎
同	内 田 倫 常
同	福 田 禮 之
同	石 井 清
同	相 馬 愛 次 郎
同	豊 島 文 雄
同	樫 村 實
同	小 島 駒 夫
同	藤 井 豊
同	濱 村 進
同	小 田 部 崧
同	内 尾 毅
同	美 濃 部 浩 一

海軍公報(部内限)第四千五百七十二號 昭和十八年十二月二十二日

二三八五

0722

海軍軍醫少佐	高井英一郎
同	塩入綾夫
同	平尾勝
同	勝正敏
同	大月要
同	東間重倫
同	小山正信
同	黒羽根節雄
同	安間孝正
同	原憲次
同	高橋久雄
同	宮崎五郎
同	松尾孝雄
同	那嶋恭介
同	細野善正
四旅	費
講習員ノ旅費ハ昭和十八年官房經第七號ニ依リ請求ヲ俟テ別途配布ス	
官房軍第一四一四號	
大東亞戰爭中戦地等ニ於テ海軍禮式令第三編第二章ノ	

遙拜式ヲ實施スルコト困難ナル場合ニ於テハ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ一部又ハ全部ヲ省略スルコトヲ得

昭和十八年十二月二十一日

海軍大臣

○通牒

軍務一機密第一〇〇三號

昭和十八年十二月二十一日

海軍省軍務局長

關係廳長殿

理工科系學校ノ新設轉化ニ伴フ後援等ニ關スル件申進

學生徵集延期ノ廢止並ニ法文系學校整理ニ伴ヒ理工科系學校ノ新設又ハ轉化ノ爲設立ノ後援或ハ海軍關係工場ニ於ケル實習依頼等相當アル處其ノ學校ノ施設、内容等之ニ伴ハズ單ニ整理ヲ免レンガ爲ノ手段トシ又ハ學生ノ徵集忌避ニ資セントスル不純ノ動機ニ出ヅルモノ尠カラザルヤニ見受ケラルルニ付此等ノ取扱ニ關シテハ遺般ノ事情含ミノ上可然處理相成度

0723

○辭令

氣象技手 長友 久雄
阿部 忠

(各通) 同
北東方面艦隊司令部附ヲ命ス(其前海軍省)

鎮海海軍施設部徵用員 松井 宗吾
佐世保海軍施設部ニ配屬ス

遞信局事務官 藤枝旗一郎
第八海軍通信附ヲ免シ東京海軍通信隊附ヲ命ス(以上詰同)

軍令部出仕海軍中佐 塚田 收
副官部勤務ヲ命ス(其前軍令部)

海軍衛生少佐 西岡 萬二
第二課兼第一課勤務ヲ命ス(其前海軍省醫務局)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十七驅逐隊司令ハ十二月十日司令驅逐艦ヲ谷風ニ變更セリ

○司令驅潛艇變更

第三十一驅潛隊司令ハ十二月七日司令驅潛艇ヲ第十號驅潛艇ニ變更セリ

○選修學生入校ニ關スル件

今期採用豫定ノ第二十四期選修學生ハ明十九年一月二十七日入校式舉行ノ豫定ナルモ身體檢査ノ都合上同月二十四日午前中迄ニ着校セシメラレ度
追テ江田島方面ハ目下住宅拂底ニ付家族移轉ハ本人着校後實施ノコトニ取計ハレ度
(海軍兵學校副官)

○出張所開設

左ニ依リ門司出張所ヲ開設十二月一日ヨリ事務ヲ開始セリ

一場 所 門司海軍武官府内

二 事務範圍 (イ) 燃料及行動用消耗品ノ一部
(ロ) 生糧品、貯糧品、被服物品貸與品ノ一部

三 受給範圍 下關、門司方面入港艦船
(吳海軍軍需部)

○事務開始

當隊十二月一日松島航空基地ニ於テ事務開始ニ付各種練習生採用試験問題一部送付相成度
(復ケ浦海軍航空隊松島分遣隊)

○廳舎移轉
長崎在勤海軍武官府並ニ佐世保海軍運輸部長崎支部ハ十二月十三日長崎市新地町一番地ニ移轉セリ

○事務所移轉
郡山海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ハ十二月十五日福島縣田村郡守山町字徳定ニ移轉セリ

○殘務整理
第八聯合特別陸戰隊司令部ハ十二月一日附解隊第十四根據地隊司令部ニ改編ノ處殘務整理ハ左ニ於テ處理可致候
横須賀郵便局氣付、ウ壹〇五、ウ壹九九

○殘務整理移管
第二十一航空戰隊司令部(ウ壹〇四)ハ横濱航空基地ニ於テ殘務整理中ノ處十二月十日佐世保鎮守府艦船部隊殘務整理班ニ關係書類ヲ移管セリ

○事務所撤去
呂號第四十三潜水艦裝裝員事務所ハ十二月十六日之ヲ撤去セリ

第二三一設營隊第二部隊事務所ハ十二月十八日之ヲ撤去セリ

0725



部)

(限 内)

海軍公報 (部内限) 第四千五百七十三號

海軍大臣官房

昭和十八年十二月二十三日(木)

○ 通 牒

海人第一一號ノ四七六

昭和十八年十二月二十三日

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

戰歿者ノ遺骨及遺品處理ニ關スル件通牒

戰地ニ於テ死亡セル軍人軍屬ノ遺骨及遺品ノ處理ニ關シテハ本年達第二百八十四號大東亞戰爭中戰歿者等身上取扱規則第十六條及第二十條ニ規定セラレアリ右遺骨及遺品ノ發送輸送及受領ニ確實ヲ期シ以テ遺族ヘノ交付ニ遺憾ナカラシメントスルノ趣旨ニ有之候處最近軍屬ノ遺骨ヲ個人ニ托送シ授受不確實ナリシ爲遺族ニ迷惑ヲ及ボシタル事例モ有之候ニ付自今右趣旨ニ依リ關係者ニ於テ確實ナル方途ニ依リ取扱フ様指導相成度
尙現在各海軍人事部ニ於テ保管シアル軍屬ノ遺骨ニシ

テ本籍、遺族氏名等不明ノ爲交付不能ノモノモ有之候ニ付大東亞戰爭開戦以來ノ軍屬戰歿者ヲ同規則様式第三ニ準ジ調製シ各一通ヲ海軍省人事局長及所管鎮守府海軍人事部長ニ送付相成度

○ 辭 令

海軍大佐 神 重 徳

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

思想調査委員會委員ヲ命ス

海軍服制研究調査會委員ヲ命ス

海軍豫備學生採用試験委員ヲ命ス

能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス (海軍省)

海軍中佐 青木 龍 雄

第一課勤務ヲ命ス (海軍省兵備局)

海軍公報 (部内限) 第四千五百七十三號 昭和十八年十二月二十三日

一三八九

0726

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百七十四號

昭和十八年十二月二十四日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房教機密第三五一號

昭和十九年一月下旬採用豫定ノ一般兵科豫備學生、生徒ハ左ノ通軍事教育(專修別軍事教育ヲ除ク)ヲ實施ス

昭和十八年十二月二十二日

海軍大臣

一 實施場所及員數

番號	場 所	員 數
一	旅順特別根據地隊	約 一、〇〇〇
二	横須賀第二海兵團	約 三、一〇〇
三	海軍機雷學校	約 五〇〇

二 教育期間

昭和十九年二月一日ヨリ約五月半トス

三 教育ヲ擔當スル旅順方面根據地隊附及横須賀第二海兵團教官タル職員中首席ノ兵科將校ヲシテ教育ノ準備及實施ニ關シ所轄長ニ準ジ服務セシムルコトヲ得

官房需第二五八號

當分ノ間航空隊勤務者及艦船ニ於ケル航空勤務ニ従事スル者ニ給スル基本食ノ米麥及生獸魚肉ハ昭和十八年官房需第二〇九號別表第一ノ規定ニ拘ラズ左ノ量額ニ依リ給與スルコトヲ得

昭和十八年十二月二十二日

海軍大臣

精 米	日額	五四〇瓦
精 麥	同	一八〇瓦
骨付生獸肉	同	一三〇瓦
骨付生魚肉	同	一六〇瓦

以內

(參照) 昭和十八年官房需第二〇九號(昭和一八、九、二八海軍公報(部内限號外))

海軍公報(部内限) 第四千五百七十四號

昭和十八年十二月二十四日

一三九一

0727

○通牒

官房備機密第四二四號

昭和十八年十二月二十二日

海軍省副官

關係各廳長殿

航路標識ノ管制ニ關スル件通知

昭和十六年官房機密第六四二八號別冊祕密燈臺表ハ昭和十八年十二月三十一日限り之ヲ廢止セラレ昭和十九年一月一日以降航路標識管制ハ水路部極秘一〇〇〇一號祕密燈臺表ニ依リ實施ノコトニ定メラレ候ニ付了知相成度

(内令提要卷三、二九頁參照)

官房備機密第一四五號ノ二六

昭和十八年十二月二十三日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房備機密第一四五號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄部隊區別符表(其ノ一)中ニ「第八十一防空隊」ウ參壹七」「第八十二防空隊」ウ參壹八」「第八十三防空隊」ウ參壹九」「第八十四防空隊」ウ參貳〇」ヲ加ス同(其ノ三)中ニ「第二十五警備隊」イ壹〇〇」ヲ加フ

○辭令

同	通信院技手	船木 伴幸
同		小副川 隼房
同		野田 元
同		鈴木 正敏
同		水口 英佐久
同		高實 政雄
同		川崎 鐵太郎
同		谷 清
同		松本 多助
同		五十畑 進
同		諸星 博
同		香取 茂
同		渡邊 虎松

0728

(各通)		同	阿部清
同	服部義雄	同	同
同	吉田静雄	同	同
同	橋本祐郎	同	同
同	佐脇一郎	同	同
同	宮下準營	同	同
同	大林敬夫	同	同
同	洞澤達美	同	同
同	杉岡乘雄	同	同
同	三好芳夫	同	同
同	岡田良吉	同	同
同	西村米三郎	同	同
同	眞保壽一	同	同
同	池田政陽	同	同
同	土井善治郎	同	同
通信技手	吉田弘	同	同
同	北川一夫	同	同
同	三輪康平	同	同
同	鷺崎正千代	同	同
同	玉梶重雄	同	同
同	黒岩清收	同	同
(各通)		同	森田慶三
同	遠藤平藏	同	同
同	本田勝榮	同	同
同	須江貞夫	同	同
同	山崎英男	同	同
同	照井一	同	同
同	遠藤武夫	同	同
同	齋藤武夫	同	同
遞信局技手	小林直道	同	同
同	安藤二郎	同	同
同	江刺良吉	同	同
同	佐々木仲男	同	同
東京海軍通信隊附兼海軍技術研究所附海軍航空技術廠支廠附ヲ命ス(海軍省)		沼尻浩如	
(各通)		佐藤光男	
海軍豫備學生ヲ免ス(海軍省)		三輪正次	
徴用中自今年額千參百圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(海軍省)			

0729

海軍主計中尉 和田 篤

門司在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス(以上海軍省經理局長)

海軍兵曹長 倉田 才次

函館在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍中尉 永井 長作

右 同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

海軍兵曹長 清水 重次郎

伏木在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍少尉 永井 二郎

右 同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

海軍主計大尉 新原 健四郎

漢口在勤海軍武官府國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス(以上同)

同 向井 篤一

第二百二海軍經理部パルクバパン支部國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

同 鈴木 龍太郎

右 同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

海軍主計中尉 中 澤 清

滿洲國在勤帝國大使館附海軍武官室國防獻金、恤兵金、學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍中佐 加治木 喜久雄

右 同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

○ 雜 款

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限)第四千五百七十五號

昭和十八年十二月二十五日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房審機密第五八〇號

當分ノ間戰地ニ在ル下士官及兵ニシテ傷病ノ爲内地ニ送還セラルル場合必要アルトキハ所持ノ被服物品申當分使用セズト認メラルモノニ限り現地ニ於テ之ヲ還納セシムルコトヲ得

昭和十八年十二月二十三日

海軍大臣

官房經機密第九八二號

當分ノ間京城在勤海軍武官附首席主計科士官及北京在勤海軍武官附首席主計科士官ヲ契約擔任官トシ各當該地ニ於ケル契約事項ニシテ他ノ擔任ニ屬セザルモノヲ擔當セシム

昭和十八年十二月二十四日

海軍大臣

○通牒

官房備第二六三號

昭和十八年十二月二十三日

海軍次官

各鎮守府司令長官
各警備府司令長官 殿

工員養成所見習科ノ教育ニ關スル件申進

當分ノ間工員養成所見習科工員ノ修業年限ヲ一年短縮シ第二學年教程ハ之ヲ中止スルコトニ定メラレ候
教育實施其ノ他詳細ノ事項ニ關シテハ海軍艦政本部長、海軍航空本部長、海軍施設本部長及海軍省軍需局長ヲシテ夫々關係ノ向ニ通知セシメラレ候

海人第二號ノ八〇九

昭和十八年十二月二十四日

海軍省人事局長

各廳長 殿

敝位取扱ニ關スル件通牒

海軍公報(部内限)第四千五百七十五號

昭和十八年十二月二十五日

一三九五

0731

今般達第三二〇號ヲ以テ現行敝位具申手續ハ昭和十九年一月三十一日限り廢止ト爲リ同年二月一日以降新敝位取扱規則ノ規定ニ依リ敝位取扱ヲ海軍省人事局及各鎮守府ニ於テ掌理セシメラルルコトニ定メラレ各所轄ヨリノ具申ヲ要セザルコトニ相成候右ハ現時局下ニ於ケル各廳事務ノ輕減殊ニ第一線部隊ノ現狀等ニ鑑ミ措置セラレタル次第ニ有之候處新敝位取扱規則ノ施行ニ伴ヒ左記事項特ニ留意相成度

追テ大正八年官房第二〇二一號及同年海人第七八號中敝位ニ關スル部分ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

記

- 一 敝位取扱規則第四條ノ報告(通報)ハ敝位事務掌理ノ簡捷、確實ニ關聯アルニ付速ニ之ヲ爲シ且報告(通報)漏無キコト
- 二 敝位ニ關シ履歷書記入漏等無キコト

○ 辭令

海軍主計少佐 脇水 利勝
中華民國北京方面ニ於ケル準備購入材料物品費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(其請支出自官 海軍省經理局長)

田地川 健一(日鐵)
鐵藥莖生産對策委員會委員ヲ命ス(其請海軍艦政本部)

○ 雜款

司令驅逐艦變更
第十驅逐隊司令ハ十二月十一日司令驅逐艦ヲ秋雲ニ變更セリ

轉勤者赴任順路

- 當隊轉勤者ハ左ニ依ラレ度
- 一 東京、横須賀方面ヨリ
東海道線名古屋驛乗換、關西本線、龜山驛木津驛經由、奈良驛乘換ニテ櫻井線丹波市驛下車
- 二 佐世保、吳方面ヨリ
東海道線大阪驛及天王寺驛乘換、關西本線、王寺驛經由、奈良驛乘換ニテ櫻井線丹波市驛下車
(三重海軍航空隊奈良分遣隊)

郵便物再送
自昭和十八年十二月四日、至昭和十八年十二月十四日、期間本艦宛送付ノ郵便物ハ事故ノ爲不着ニ付至急再調送付相成度
追テ物品送付及送金ノ向ハ品名金額發送年月日事由送付要領等速ニ通知ヲ得度(特別酒保關係ヲ含ム)
(特務艦 伊良湖)

0732

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百七十六號

昭和十八年十二月二十七日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房教第一〇〇號ノ五

左ノ各號ニ依リ官房教第一〇〇號ノ二ニ依ル第五次乃

至第七次體育講習ヲ施行ス

所屬長官ハ第二號ノ講習員ヲ講習開始前日迄ニ横須賀

海軍砲術學校ニ入校セシムルト共ニ其ノ官階氏名ヲ講

習開始三日前迄ニ横須賀海軍砲術學校長ニ通報スベシ

昭和十八年十二月二十四日

海軍大臣

官房醫機密第八號

大東亞戰爭中部外病院ニ入院治療ヲ委託シタル患者ニ

要スル治療品ハ之ヲ最寄ノ海軍病院ヨリ當該病院ニ供

給スルコトヲ得

本令ノ實施ニ關シテハ海軍省醫務局長及海軍省經理局

長ヲシテ之ヲ通牒セシム

昭和十八年十二月二十四日

海軍大臣

一 講習期間

講習回次	講習期間
第五次	自昭和十九年一月九日 至昭和十九年三月十日
第六次	自昭和十九年三月十五日 至昭和十九年五月十四日
第七次	自昭和十九年五月二十日 至昭和十九年七月十九日

海軍公報(部内限) 第四千五百七十六號 昭和十八年十二月二十七日

一三九七

0733

二 講習員派遣標準

派遣元	講習員		記
	准士官以上	下士官	
横須賀鎮守府	一〇	四〇	一、各鎮守府講習員ニハ部隊(補缺員ヲ含ムコトヲ得)及學校勤務者ヨリ充ツルモノトス 二、講習員數ハ狀況ニ依リ適宜増減スルコトヲ得 三、准士官以上講習員中ニハ教授助教ヲ含ムモノトス 四、第五次講習員中海軍練習聯合航空總隊、海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校ノ准士官以上ハ第三期一般兵科豫備學生(體操助教豫定者)ヲ充當スルモノトス 五、既往ニ於テ本講習ニ參加シタルモノヲ除ク
吳鎮守府	四	二〇	
佐世保鎮守府	三	一五	
舞鶴鎮守府	二	一〇	
大湊、鎮海、大阪各警備府	一	二	
海軍練習聯合航空總隊	第五次 第六次 第七次 各五	九 三〇	
海軍兵學校	第六次 各六		
海軍機關學校	第五次 各二		
海軍經理學校	第五次 各一		

三 講習要領

主トシテ海軍體操及之ガ指導法ニ付實施ス
 四 横須賀鎮守府司令長官ハ海軍航海學校長ヲシテ本講習ニ協力セシムベシ

五 旅費

講習員ノ旅費ハ昭和十八年官房經第七號ニ依リ請求ヲ俟テ別途配付ス

0734

○通牒

醫豫機密第一五四〇號

昭和十八年十二月二十四日

海軍省醫務局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

部外病院ニ治療品供給ニ關スル件通牒

官房醫機密第八號ニ依ル首題ノ件ハ左記ニ依リ實施相成度

記

一 供給シ得ル治療品ノ範圍

消耗療用品及藥品但シ統制其ノ他ノ事由ニ依リ當該病院ニ於テ入手困難ナルモノニ限ル

二 供給シ得ル部外病院ノ範圍

日本赤十字病院

三 供給手續及整理

(一) 海軍患者ノ入院治療ヲ受託セル日本赤十字病院ヨリ治療品供給ノ願出アリタルトキハ委託患者數其ノ他ヲ參酌査定ノ上消耗拂トシテ現品ヲ供給スルモノトス

(二) 治療品ノ供給單價ハ市價ヲ參酌シ供給應ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

(三) 海軍病院前一號ノ規定ニ依リ治療品ノ供給ヲ爲シタルトキハ毎月五日迄ニ前月分ヲ取纏メ別紙様式ニ依リ治療品供給通報ヲ調製シ之ヲ海軍省醫務局長及海軍省經理局長ニ各一通ヲ送付スルモノトス

(四) 前號ノ治療品供給通報ニ基ク供給代價ハ日本赤十字社ニ支拂フベキ委託治療品支拂ノ際之ヲ控除スルモノトス

(様式添)

○辭令

朝嵐丸徵用員 吉田 作郎

横須賀海軍港務部ニ配屬ス(計部海軍省)

第三百二海軍燃料廠徵用員 大 武 工

特設海軍燃料廠補給部ニ配屬ス(計部同)

海軍中佐 瀧地 誠夫

第一課勤務ヲ命ス(計部海軍省人事局)

海軍主計大佐 笹原 宮次郎

福岡海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝員事

海軍公報(部内限) 第四千五百七十六號

昭和十八年十二月二十七日

一三九九

0735

務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

同 關 德四郎

資金前渡官吏ヲ免ス(以上計部支出官 海軍省經理局長)

海軍主計中尉 明石 義男

第四海軍經理部バラオ出張所ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 瀧田 信義

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上計部同)

海軍主計兵曹長 太田 萬之吉

第四氣象隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

同 松村 正一

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上計部同)

海軍主計中尉 竹 井 順

第五號掃海艇ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

同 山中 篤

第四號掃海艇ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上計部同)

○ 雜 款

○郵便物再送ニ關スル件
本艦宛郵便物ニシテ左記期間ニ送付セラレタル向ハ未着ニシテ郵送途中便船ノ事故ニ依リ亡失セルモノト思考セララルニ付再送相成度

自昭和十八年十月十四日―至同年十一月五日

記 (軍 艦 艇 船 帆)

○入隊者順路
郡山海軍航空隊(假稱)ニ入隊ノ者ハ東北本線郡山驛下車ノコトト致サレ度

(郡山海軍航空隊)

○事務引繼
在瀨岡海軍監督官事務所資金前渡官吏十一月二十四日附事務引繼ヲ了ス

前任 海軍主計大佐 關 德四郎
後任 同 笹原 宮次郎

○事務開始
横須賀第三海軍病院(假稱)附屬練習部並ニ海軍醫學學校普通科學生教育施設立準備事務所ハ十一月十日横須賀海軍病院内ニ於テ事務ヲ開始セリ(横須賀第三海軍病院ハ本年十二月十五日戸塚海軍病院ト改稱開應)

0736

<p>セリ)</p> <p>加來海軍航空隊(假稱) 潭牛海軍航空隊(假稱) 設立準備事務所ハ十二月一日イ八七内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>田邊兵員收容施設建設準備事務所ハ十二月十五日紀伊防備隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>郡山海軍航空隊(假稱) 設立準備員事務所ハ十二月十五日福島縣田村郡守山町徳定ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>人吉海軍航空隊(假稱) 設立準備事務所ハ十二月二十日熊本縣球磨郡木上村ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>第二出水海軍航空隊(假稱) 設立準備事務所ハ十二月二十日鹿兒島縣出水郡出水町ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>○殘務整理</p> <p>霞ヶ浦海軍航空隊三澤分遣隊ハ十二月一日解隊殘務整理ハ霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ之ヲ行フ</p> <p>追テ同隊宛郵便物發送ハ左ノ通</p> <p>茨城縣稻敷郡阿見村</p> <p>霞ヶ浦海軍航空隊三澤分遣隊殘務整理班</p> <p>(霞ヶ浦海軍航空隊)</p>	<p>○訂正</p> <p>九月二十日附公報(部内限) 辭令欄一〇〇二頁二十一行目「建設部」ハ「施設部」ニ訂正</p> <p>○本日普通公報發行セズ</p> <p>○本日暗送公報第十三號、第十四號發行ス</p>
---	--	--	---

○事務所撤去

神鷹艦裝具事務所ハ十二月十五日之ヲ撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千五百七十六號 昭和十八年十二月二十七日

一四〇一

0737

様式

治療品供給通報(昭和 年 月分)

(昭和十八年十二月二十七日海軍公報(部内限))

供給先 供給應 何 何

赤十字病院 海軍病院

品名	稱呼	數量	單位	價	代價	備考
消耗療用品						
何々						
何々						
藥品						
計						
何々						
何々						
計						
合計						

0738